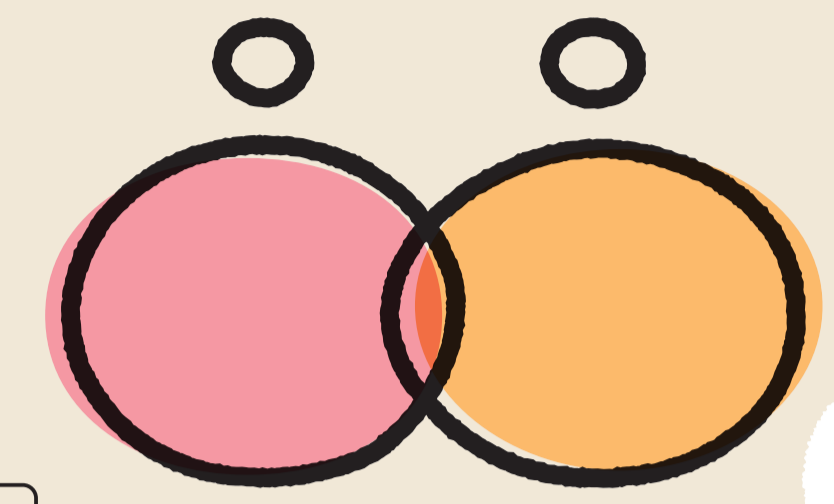


思いは、きつと伝わる、 広がる、つながる。

中野小の閉校式とお別れ会
笑顔で元氣よく旅立った
中野小の子どもたち。



2015年度
プロジェクト
参加者
1,282人
Facebook
「いいね!」数
2,229
(2016年4月現在)

今できること プロジェクト 2015年度

公式ホームページで
プロジェクトの全貌を発信中
公式ホームページに掲載いただいた
メッセージの一部をご紹介します。

山元町を深く知るツアーに参加した
安田菜津紀さんから

地元の皆さんとふれあい
その思いを受けとめた1日。



2015年12月に行われた中野小メモリアルイベントの様子を編集したDVDを子どもたちに贈呈しました。

津波の爪痕が残る小学校を目の前に、何を忘れてはいけぬのか、悲劇を繰り返さないための教訓とは何か、あの日の記憶をたぐり寄せながらも一度、心の中で向き合った。真つ赤に熟したイチゴや海の幸を頬張りながら、知らなかつた宝物に触れる喜びを噛みしめた。そんな時間を過ごせたのも、この街をただ悲しい場所



にしなためにと、奔走し続けてくれた人たちがいたからだった。この学びに何を返せるだろう、とあの日から考え続けている。一人でも多くの人に、五感に残っている山元町を伝えていこう。そして必ずまた、ここに帰ってこよう。こうして人がつながり続けることが、復興の一つの形なのだ、改めて実感したツアーでした。

今できること
プロジェクトは、
これからも、
皆さんといっしょに
続けます。

今できることプロジェクト
2015年度の活動は、4つのプロジェクトを実施し、それぞれ活動の詳細を新聞紙面とホームページで伝えてきました。今できることプロジェクトのさまざまな活動は、実施してそれで終了というものではなく、被災地支援というテーマについて、私たちに今何ができるか、いっしょに考え、少しずつでも何か自分ができることを探していく、その気持ちができるだけ多くの方に伝えていきたいと思います。参加いただいた方、紙面やホームページを見ていただいた多くの方といっしょに、つくりあげてきたプロジェクトです。プロジェクトの実施によって、また新しい動きが生じたり、人とのつながりが広がったり、少しずつでも、被災地や被災地の方々へ寄り添うことができたらと考えています。これからは読者の皆さま、また賛同企業の皆さまといっしょになって取り組んでいきたいと思えます。

ホームページでは、今できることプロジェクトがスタートした2012年からの活動実績や、さまざまな賛同企業の復興支援活動の取り組みなども詳しく紹介しています。ぜひご覧ください。

2016年度活動のスタートの際には、また新聞紙面とホームページでの告知に よってお知らせいたします。それまで、特設サイトとFacebookページでは情報を更新していきますので、引き続きご覧いただけますようお願いいたします。

1

ボランティア型支援プロジェクト

気仙沼イルミネーションへの
ボランティア参加の実施
●実施/2015年11月21日(土)
●参加者/50人



2年から開催してきました。毎年イルミネーション設置作業のボランティアが足りない状況でしたが、今回プロジェクトの参加者50人が4時間近く屋外で一生懸命作業をしました。

みんなで作ったイルミネーションは12月5日点灯式で灯され、気仙沼イルミネーションは今年1月15日まで開催され、来場者の目を楽しませてくれました。

2

こども支援プロジェクト

2016年3月に閉校した中野小学校の
メモリアルイベントの企画実施
●会場/日立システムホール仙台サウナホール
●実施/2015年12月4日(金)
●参加者/691人



仙台市立中野小学校は、震災前155名いた児童が40名になり、学区近くの中野菜小で授業を行ってまいりました。今年3月に閉校となるのが決まり、春から離れ離れになってしまう子どもたちを応援するメモリアルイベントを開催しました。

子どもたちから来場者に向けて発せられたメッセージは、多くの方々への感謝の気持ちとともに、しっかりと前を

子どもたちは、力強く歩み始めた。

3

観光型支援プロジェクト

県外から被災地への
復興支援ツアーの企画実施
●実施/2016年1月30日(土)
●参加者/54人



ただきました。

地元産のホツキ飯や、地域の農業をけん引する園芸施設で育てられたイチゴも堪能。地元の方々と触れ合いながらお菓子を作ったり、迫力ある和太鼓を楽しんだりするひとときもありました。被災と復興、そして山元町の将来に向けた取り組みなど、町の皆さんの思いをしっかり受けとめた1日となりました。

出会った、受けとめた。町の魅力と人の思い。

2015年度の活動の振り返り

4

こども未来応援教室

社会科学習・シゴトワークショップと
保護者向け特別講演会の企画実施
●実施/2016年3月21日(月祝)
●会場/東北学院大学多賀城キャンパス
●参加者/子ども105人、保護者向け講演会162人



子どもたちにこれからの時代を見据えた興味深い学習プログラムを提供しようと、今できることプロジェクト賛同企業などが独自の授業を展開する「社会科学習」(午前の部/3教室)。いま子どもたちの関心が高い各種のシゴトについて、プロの方から授業を行ってもらい、そのシゴトを体感してもらおうシゴトワークショップ(午後の部/今回は歯医者、テレビ局、ネイリスなど7教室。また今回は、午前中、保護者向けのプログラムとして、講演会を開催しました。

会場は、325人の子どもの熱心な表情と笑顔に満ちていました。

夢に向かって、学んだ、体験した。

みやぎ生協	Changes for the Better		野村不動産	東北学院大学 TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY	一生のパートナー 第一生命		感動のそばに、いつも。	神戸製鋼グループ	株式会社 NTTデータ 東北	今できることプロジェクトは 賛同企業54社の大きな支援によって活動しています。 今できることプロジェクト2015年度活動は、プロジェクトに賛同・参加いただいている54社の企業のご支援・ご協賛によって成り立っています。あらためて賛同企業の皆さまに感謝申し上げます。
明治安田生命	一般社団法人 宮城県自動車整備振興会	Value from Innovation 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社	Inspire the Next 株式会社 日立システムズ	東北三菱 東北三菱自動車販売株式会社	家寄りと共に日暮らし 大東住宅株式会社		尚綱学院大学		キヤノンマーケティングジャパン株式会社	
森永乳業	一般社団法人 宮城県建設業協会	株式会社 松田会	Inspire the Next 株式会社 日立システムズ	日本製紙株式会社	住まいの「火」と「水」のコンサルタント アゼン		一信用と創造 住友不動産		キリンビールマーケティング 宮城支社	Realize your dreams
imagine. change. リコージャパン株式会社	公益社団法人 宮城県物産振興協会	都市に豊かさ調いを 三井不動産	仙台弁護士会所属・弁護士法人 平松剛法律事務所	日本製紙クレシア株式会社	DIC グラフィックシステムズ株式会社				ケーズデンキ	Love Peace TRAVEL
◎後援/宮城県、仙台市、多賀城市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、多賀城市教育委員会 ◎企画・制作/河北新報社営業局(今できることプロジェクト事務局)	人を、想う力。街を、想う力。 三菱地所グループ	TOTAL BUILDING MAINTENANCE 株式会社ビルワーク	日本生命保険相互会社	this is japan. MITSUKOSHI	一般社団法人 生命保険協会 宮城県協会	JA全農みやぎ	劇団四季		その感動を、わかちあう。	